

平成19年 春の叙勲

平成19年春の叙勲がこのほど発表され、三河喜美男さんが旭日双光章、前田秀也さんが瑞宝双光章、清水川岩男さんが瑞宝単光章を受章しました。三河さんは地方自治に、前田さんは警察協力に、清水川さんは消防にそれぞれ携わり、尽力されたことが評価されました。おめでとうございます。



三河喜美男さん
(天神堂・70歳)

久慈市議などを経て平成3年から2期8年岩手県議を務めたほか、獣医師としても活躍し、ひばり保育園を運営。「久慈市は海山の資源があるが、産業が弱い地域。人が集まり、子どもが成長できるように」との思いで保育園を運営してきました。また、自身に障害があることから、障害者のためのひばり療養園（身体障害者療養施設）を新設。「誰もが健やかに暮らせるように」と願いを込めていました。

旭日双光章



前田秀也さん
(本町・70歳)

昭和45年から県立久慈病院の医師として勤務。昭和49年に開業医となり、久慈署協働医、平成12年には日本法医学学会検案認定医(県内に2人となりました)。これまで、約1300体の死体を検案し、県警の捜査に協力してきました。「慣れが一番恐ろしいこと。死体の検案でも『誤診』がないようにいつも心掛けています」と初心忘れず、「元氣な限りは続けたい」と意欲を新たにしています。

瑞宝双光章

清水川岩男さん
(山根町・71歳)



昭和29年に久慈市消防団入りし、平成4年から4年間第10分団長として活躍。昭和58年の久慈大火では玉の脇地区で海水をポンプで吸い上げ、燃え移らないように民家に放水するなどの作業に当たりました。「当時は風が強く、家の屋根も吹き飛ばされそうになるほどだった。家が心配で出る人間が少なく大変だった」と回顧。「山根は高齢化が進んで大変だが頑張ってもらいたい」と後進にエールを送っていました。

瑞宝単光章

昭和29年に久慈市消防団入りし、平成4年から4年間第10分団長として活躍。昭和58年の久慈大火では玉の脇地区で海水をポンプで吸い上げ、燃え移らないように民家に放水するなどの作業に当たりました。「当時は風が強く、家の屋根も吹き飛ばされそうになるほどだった。家が心配で出る人間が少なく大変だった」と回顧。「山根は高齢化が進んで大変だが頑張ってもらいたい」と後進にエールを送っていました。



教育旅行 受け入れを開始
本市が進める体験交流事業の核となる「教育旅行」の受け入れが始まりました。5月9日から、柳生中学校（宮城県仙台市、佐藤淳校長、生徒740人）が2泊3日でプログラムを体験。自然との触れ合いを学びました。
体験プログラムは、内間木溪流での沢登りや木登り、炭焼き体験、カヌー・カヤック、間伐作業など様々。昔は日本中どこでも当たり前のようにあつた作業を都会つ子たちに提供します。
教育旅行は旧山形村時代からの事業。昨年度は9校94人が訪れました。本年度は、17校2058人が本市を訪れる予定です。

友だちとの木登りは最高の思い出になるでしょう！

未利用資源活用 新規雇用を拡大

マルサ 新工場立地調印

(株)マルサ嵯峨商店(普代村、資本金3000万円、嵯峨政嘉社長)が長内町の久慈港諏訪下地区に新工場の立地を内定したことを受け5月7日、同社と県・市による立地調印式が久慈市役所で行われました。和嶋憲男・久慈地方振興局長が立ち会いました。
同社は昭和31年創業。イクラや冷凍フイルなどの加工・販売を主に行っており、主要製品のアイスキャビアがモンドセレクションを5年連続で受賞するなど、国内外で高い評価を得ています。
昭和54年から稼働する水産加工団地内(諏訪下)で加工を行ってきたが、秋サケの加工部門を分離し新工場に集中させ、秋サケの中骨から出る落とし身を使ったさつま揚げやちくわの製造など、未利用資源の加工も行う予定です。
嵯峨社長は「1人でも多く地元から雇用し、経営者としての使命・責任を果たしたい」とあいさつ。山内隆文市長が「水産業をはじめ地域産業の活性化につながり、イメージアップになる。市として出来るだけ支援していきたい」と歓迎しました。
土地の取得予定面積は5000㎡(うち、建物は1700㎡)。今年の9月から新規で常用雇用11人と季節雇用30人での操業を目指します。



調印式で握手する嵯峨社長(右)、和嶋振興局長(中央)、山内市長

児童手当の現況届 6月中旬

児童手当を受給している方は、毎年6月中旬に児童手当の現況届を提出しなければなりません。対象者にはがきを送付します。はがきが届いたら忘れずに届け出ましょう。届け出ないと、6月からの児童手当を受給できませんのでご注意ください。
■届け出に必要なもの①はがき②印鑑③健康保険被保険者証(受給者本人と対象児童のもの)④平成19年度の所得証明書(平成19年1月2日以降に本市に転入した方のみ)
※はがきは忘れずにお持ちください。対象地区の割り当て日に都合の悪い方は、別の日に受け付けます。6月29日(金)までにお越しください。

■現況届の受付日程

【受付時間】	9時～16時	()内は対象地区
・6/11(月)	市役所1階・市民ホール	(小久慈、大川目)
・6/12(火)	"	(宇部、侍浜、山根)
・6/13(水)	"	(長内、夏井)
・6/14(木)	"	(久慈)
・6/15(金)	山形総合支所・山形福祉室	(山形)

青空でのびのび エリート牧場が開牧



広い牧野でのびのびと育ちます
山形町の市短角牛基幹牧場(エリート牧場)で5月9日、短角牛の放牧が始まりました。
同牧場は、地元の畜産農家の負担を減らすため、市が農協に委託して管理・運営を行っているもの。指定された基礎雌牛(指定牛)の放牧を毎年、若草が生い茂る5月に行い、子牛の育成と繁殖を行ないます。
今年は20戸の畜産農家が種雄牛や繁殖用の雌牛、子牛など約200頭を放牧しました。短角牛の特長は、中型で四肢が丈夫なこと。それにより、傾斜地での放牧が可能で、環境の厳しい北上山系での繁殖を可能にできました。
放たれた牛たちは、温かい日差しを浴びながら、のびのびと草をはんでいます。放牧は10月ごろまで行なわれます。

